

平成30年度「妊産婦に関する調査」調査票等（案）について

1. 調査票（案）
2. お知らせ（案） 調査票送付時に同封
3. リーフレット（案） 調査票送付時に同封
4. お礼状（案）

なお、上記1～4については、平成29年度調査時に使用したものをサンプルとして掲示

1 調査票（案）

平成29年度

78000xxxxxx

県民健康調査 妊産婦に関する調査 調査票

〒123-4567
福島県福島市光が丘1



医大花子 様



オンライン用
(平成30年8月末まで)
ID: 217XXXXXXX
パスワード:
XXXXXXX

オンライン回答サイト: <http://fukushima-mimamori.jp/17nimpu>

- ・ 本調査票は、福島県各市町村の母子健康手帳(以下、母子手帳)の交付資料に基づいて発送しています。
- ・ 投函にはお子様の生後1か月の発行についてお答えいただくものがございます。ご回答は、お子様の1か月児健診が終了してからお願いいたします。
- ・ 回答方法は、調査票の返送、またはオンライン回答のいずれかのご都合のよい方法をお選びください。ご本人が回答できない場合は、家族の方や同居されている方がご回答ください。
- ・ ご回答いただいた内容等により、専任の助産師等からお電話をさせていただきます。
- ・ 返信してのご相談等も受け付けていますので、ぜひ、ご利用ください。

以下にご記入後、次のページからの質問にご回答ください。

お名前	生年月日	〒	市・区	町・区	村
氏名	昭和、平成	都・道	府・県		
TEL	携帯電話				
住所に変更があった方や、医療機関にて調査票を配布された方は住所のご記入をお願いします。調査結果の報告等にて使用させていただきます。		例: 090-xxxx-xxxx			
おさがな		おさがな			
住所	〒	都・道	府・県	市・区	町・区
(アバウト名等)					

福島県・福島県立医科大学

※本案は、平成29年度サンプル

平成30年度については、平成29年度内容から大きく変更はしない予定であるが、レイアウトや文言等の軽微な修正は今後行うこともある。

これからの全ての質問は平成28年8月1日お尋ねしています。必要事項をご記入いた

ご記入日: 平成 年 月 日

問1. 母子手帳の交付年月日、交付市区町 平成 年 月

問2. あなたはふだんご自分で健康だと思いますか? (✔はひとつ)

- 非常に健康だと思う まあ健康な方だと思う
 あまり健康ではない 健康ではない

問3. 今回の妊娠・分娩全般に関して十分にケアが受けられたと思いますか? (✔はひとつ)

- とてもそう思う そう思う
 どちらともいえない そう思わない 全くそう思わない

問4. 1) ここ最近1ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか?

- はい いいえ (✔はひとつ)

2) ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか?

- はい いいえ (✔はひとつ)

問5. 現在避難生活をしていますか? (✔はひとつ)

- 現在避難中で仮設住宅で生活している
 現在避難中で仮設住宅以外の場所で生活している
 避難生活をしていった時期があるが現在は自宅で生活している
 避難していったことはない

「1」または「2」と答えた方のみにお尋ねいたします。

避難生活のため、もともと同居していた家族と離れて生活していますか?

- はい いいえ (✔はひとつ)

「はい」と答えた方のみにお尋ねいたします。家族とコミュニケーションがとれていますか?

- はい いいえ どちらともいえない (✔はひとつ)

問6. ふだん、どなたと同居していますか？(里帰り中の方は、ふだんの状況で選んでください)
 当てはまるすべての□に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)

- 一人暮らし(同居している人はいない)
 夫またはパートナー 子ども(今回出産された子どもを含む)
 義理または実父母 その他(具体的に：)

問7. 喫煙についてお尋ねします。あなたご自身の喫煙についてお答えください。

- 1) 今回の妊娠届を出すまでに、あなたはタバコを吸っていましたか？(✓はいとつ)
 吸ったことはない 今回の妊娠に気づく前に止めた
 今回の妊娠に気づいて止めた 吸っていた
- 2) 今回の妊娠期間中、あなたはタバコを吸っていましたか？
 吸っていません 吸っていた (✓はいとつ)

3) 現在、あなたはタバコを吸っていますか？ (✓はいとつ)
 吸っていません 吸っている (✓はいとつ)

問8. 今回の調査対象となる(平成28年8月1日から平成29年7月31日の期間に母子手帳の交付を受けた)

分娩(出産・死産を含む)は、一人(単胎)ですか？二人(ふたご)ですか？

- 一人(単胎) 二人(ふたご) (✓はいとつ)

問9. 今回の調査対象の妊娠についてお答えください。

妊娠様式	<input type="checkbox"/> 自然妊娠 <input type="checkbox"/> 排卵誘発 <input type="checkbox"/> 人工授精 <input type="checkbox"/> 体外受精
分娩予定日	平成 年 月 日
妊娠結果	妊娠終了時の年月日 平成 年 月 日 ()週
分娩予定日	平成 年 月 日 ()週
分娩予定日	平成 年 月 日 ()週

ふたごの際には二人目に関して下記をご記入ください。

分娩予定日	平成 年 月 日 ()週
分娩予定日	平成 年 月 日 ()週

この期間内に母子手帳を複数回交付された方は、別途、調査票をお送りさせていただきますので、
 妊娠届専用ダイヤル(024-549-5180 平日 9:00~17:00)へご連絡ください。

(参考1) 妊娠1か月：妊娠0週～妊娠3週 妊娠2か月：妊娠3週～妊娠7週
 妊娠3か月：妊娠8週～妊娠11週 妊娠4か月：妊娠12週～妊娠15週
 妊娠5か月：妊娠16週～妊娠19週 妊娠6か月：妊娠20週～妊娠23週
 妊娠7か月：妊娠24週～妊娠27週 妊娠8か月：妊娠28週～妊娠31週
 妊娠9か月：妊娠32週～妊娠35週 妊娠10か月：妊娠36週～妊娠39週
 妊娠11か月：妊娠40週～妊娠43週

(参考2) 出産：妊娠22週以降での生児の娩出 産前：妊娠22週未満の妊娠の終了
 中絶：妊娠22週未満の人工的な妊娠の終了 産後：妊娠22週以降での子宮内で亡くなった胎児の娩出とします。

問10. 今までの妊娠歴についてお尋ねいたします。

※問9でご回答いただいた「今回の調査対象の妊娠」は除いてお答えください。

- 1) 今までの流産の経験はございますか？ (✓はいとつ)
 はい いいえ はい いいえ (✓はいとつ)
- 2) 今まで中絶の経験はございますか？ (✓はいとつ)
 はい いいえ はい いいえ (✓はいとつ)
- 3) 今まで死産の経験はございますか？ (✓はいとつ)
 はい いいえ はい いいえ (✓はいとつ)
- 4) 今まで出産の経験はございますか？ (✓はいとつ)
 はい いいえ はい いいえ (✓はいとつ)
- 5) 今までふたごの出産の経験はございますか？(流産・死産を含む) (✓はいとつ)
 はい いいえ はい いいえ (✓はいとつ)

問11. あなたには、今回の妊娠前にかかったことのある病気がありましたか？

- はい いいえ (✓はいとつ)

「はい」と答えた方のみにお尋ねいたします。

以下に挙げる病名のうち、当てはまるすべての□に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)

- 高血圧 糖尿病 高脂血症 がん
 脳の疾患(脳卒中、てんかんなど) 神経・筋疾患(重症筋無力症など)
 精神疾患(うつ病、統合失調症など) 甲状腺疾患
 心臓病(心筋梗塞・狭心症、不整脈、先天性心疾患など)
 呼吸器の疾患(肺炎、喘息(ぜんそく)など) 肝臓の病気(慢性肝炎など)
 腸の病気 膠原病(SLE(全身性エリテマトーデス)など)
 他のアレルギー性疾患(アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎など)
 感染症(結核など) 血液の疾患(特発性血小板減少症など)
 その他(具体的に：)

問12. 今回の妊娠中にあなたに告げられた病気・状態がありましたか？

- はい いいえ (✓はいとつ)

「はい」と答えた方のみにお尋ねいたします。

具体的な病気・状態について当てはまるすべての□に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)

- 妊娠高血圧症候群 妊娠糖尿病 前置胎盤 切迫流産
 切迫早産 自然流産 早産 不眠・不安などの精神的問題
 肺炎・インフルエンザ・破傷風などの感染症 羊水過多
 羊水過少 血栓症(エコノミークラス症候群)・肺塞栓症
 脳卒中(脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血など)
 外傷 その他(具体的に：)

問13. 妊娠何週何日で分娩しましたか？
 妊娠 () () 週 () () 日
 自然分娩 (分娩誘発剤使用を含む) 吸引・鉗子分娩 帝王切開で分娩
 自然分娩 (分娩誘発剤使用を含む) 吸引・鉗子分娩 帝王切開で分娩

問14. 分娩時のお子様についてご記入ください。(母子手帳等ご参照ください)
 ふたごの際の第2子記入欄
 性別: 男 女
 体重: g 身長: cm
 胸囲: cm 頭囲: cm
 新生児仮死
 あり なし (✓はひとつ)
 「あり」の場合、蘇生を (✓はひとつ)
 した しなかった わからない

問15. 問16は出産された方にお尋ねいたします。出産されていない方は、問17にお進みください。
 問15. 育児に自信がもてないことがありますか？
 はい いいえ 何ともいえない (✓はひとつ)

問16. 1か月児健診(お子様の生後1か月の発育)に関してご記入ください。(母子手帳等ご参照ください)
 ふたごの際の第2子記入欄
 (平成)年 ()月 ()日実施
 生後 ()か月 ()日
 体重: g 身長: cm
 に1か月健診を受診

問17. 次回の妊娠・出産をお考えですか？
 はい いいえ (✓はひとつ)
 「はい」と答えた方のみにお尋ねいたします。
 次回の妊娠・出産に関する事で、あったらよいと思っしているサービスなどは次のうちどれですか？当てはまるすべての口に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)
 産休・育児休暇などの充実
 保育所・延長保育・病児保育などの拡充
 育児や小児医療に関する情報やサービス
 放射線と健康リスクに関する情報
 その他

「いいえ」と答えた方のみにお尋ねいたします。
 その理由は次のどれに当てはまりますか？当てはまるすべての口に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)
 希望していない
 収入が不安定なため
 家事・育児の協力がいないため
 保育所など子どもの預け先がないため
 今いる子どもに手がかかるため
 避難生活をしているため
 家族と離れて生活しているため
 年齢や健康上の理由のため
 放射線の影響が心配なため
 その他

本調査についてのご意見、ご要望、またはご自身の体調や育児の心配なことございましたら、以下の自由記載欄にご記入ください。

これで質問はすべて終わりです。
本調査票は、お子様の1か月児健診の結果までご記入いただいた後に、返信用封筒に入れてご提出ください。

電話やメールを通しての妊娠や子育てについてのご相談等も受け付けています。
ぜひ、ご利用ください。ご協力ありがとうございます。

【お問い合わせ先】

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
〒980-1295 福島県福島市光が丘1番地

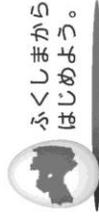
妊産婦専用ダイヤル

電話：024-549-5180
(平日 9:00～17:00)

メール：nimpu@fmu.ac.jp

78000xxxxxx

県民健康調査



Future From Fukushima.

福島県・福島県立医科大学

2 お知らせ（案）

※本案は、平成 29 年度サンプル

平成 30 年度については、平成 29 年度内容から大きく変更はしないが、レイアウトや文言等の修正を今後行う予定である。

県民健康調査

「妊産婦に関する調査」についての

※福島県立医科大学では、妊娠の最終結果やご出産の情報を完全に入手することができないため、福島県本調査票等が届きましたことをご不快な思いをされた方には心よりお詫び申し上げます。福島県立医科大学福島県の妊産婦の皆さんの現状把握のため、どうぞ本調査にご協力ください。

福島県の妊産婦のみなさん、体調はいかがでしょう

福島県立医科大学では、福島県の委託を受け、県民健康調査の一環として「妊産婦に関する調査」を実施しています。妊産婦の皆さまのこころや身体の健康状態を把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、今後の福島県内の産婦人科医療の充実へつなげていくことを目的としています。

調査対象となられる方

- ① 平成 28 年 8 月 1 日から平成 29 年 7 月 31 日までに福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
- ② 上記①の期間内に福島県外の市区町村から母子健康手帳を交付された方の中で、いわゆる里帰り出産された方

①の方は、福島県各市町村の母子健康手帳の交付資料に基づいて調査票を送付しています。また、②の方へは、県内産科医療機関を通じ、本調査へのご協力をお願いしています。

回答方法は、調査票の返送、または、オンライン回答のいずれかのご都合のよい方法で。



- ◇ 期間中は、インターネットにより、パソコンやスマートフォンからいつでも好きな時間に回答できます。(詳細は別紙をご参照ください)
- ◇ ご回答は任意ですが、多くの皆さまのご協力により充実したケアへ繋がりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
- ◇ 調査へのご意見を含め、皆さまの生の声をお聞かせ下さい。
- ◇ 妊娠、出産、育児などについて、専任の助産師、保健師等による電話相談もしています。専門的な内容のご相談には、医師が対応いたします。
- ◇ ご回答内容に基づいて、助産師、保健師等から連絡させていただく場合がございます。

<個人情報の取り扱いについて>本調査に関する個人情報は、県民健康調査において使用するほか、お住まいの市町村にも必要に応じて提供させていただきます。また、調査への回答や結果、回答にもとづく支援内容等については、学術的研究目的の利用及び公表（統計処理等）をしますが、個人が特定される形で公表することはありません。

ご出産された方は、1か月児健診を受けた後で、ご回答下さい。

「妊産婦に関する調査」専用お問い合わせ先
福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
電話 024-549-5180 (平日 9:00~17:00)
メール nimpu@fmu.ac.jp

3 リーフレット（案）

子育て等に関する福島県のサービス（平成 29 年度）

小児医療や育児に関する情報やサービスについて

- ◆ ふくしまの赤ちゃん電話相談（一般社団法人福島県助産師会）
0120-80-2051（平日 9:30～16:30）
- ◆ 福島県の医療機関の情報を知りたい。

ふくしま医療情報ネット

◆ 屋内でものびのびと遊べる場所はないの？

福島 屋内遊び場

◆ 近くの子育て支援センターを知りたい。

福島 子育て拠点一覧

福島県子ども救急電話相談 

（子どもの夜間の急な発熱など）19時～翌朝8時
短縮ダイヤル（固定電話プッシュコ回想・携帯電話）
#8000
または（一般ダイヤル回線）
024-521-3790

保育所、延長保育、病後保育について

- ◆ 近くの保育所を探したいけど、どこにあるの？
- ◆ 病後保育、児童クラブなど子育て全般について知りたい。

女性の心の相談について

- ◆ 女性のからだ、心の悩みを保健師に相談したい。
- ◆ 放射線の相談について

福島 保育事業

福島 放射線について

妊産婦専用ダイヤルにご相談ください

妊婦・出産・育児に関わることでつらいと感じる時もあります。これでもいいか相談したくなったり、心がたつらなくなったりは一人で悩まずに下記のセンターにお問い合わせ先まで電話またはメールでご相談ください。専任の助産師・保健師等が、お電話でお話を伺います。



これからも、福島県・福島県立医科大学では、皆さまの心と身体の健康を見守ります。

詳しい調査結果について

具体的な調査の結果につきましては、以下のホームページをご覧ください。

<http://fukushima-mimamori.jp/pregnant-survey/>



福島 妊産婦調査

相談・調査に関するお問い合わせ先

公立大学法人
福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理中心

妊産婦専用ダイヤル：024-549-5180
（平日 9:00～17:00）
妊産婦専用メール：nimpu@fmu.ac.jp

福島で妊娠・出産された方へ ～ 県民健康調査「妊産婦に関する調査」～

今までの調査にご協力いただきました皆さま、ありがとうございます。福島県と福島の平成 23 年度より、妊産婦が出産約 1 年後と出産約 4 年後に「妊産婦に関する調査」を実施いたします。

調査の目的

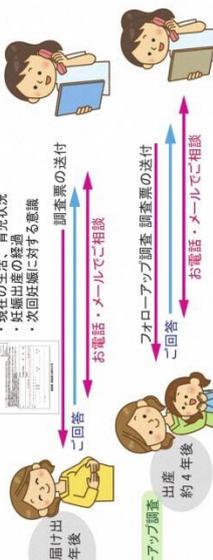
- 妊産婦の皆さまの心と身体の健康状態を把握します
- 回答いただいた方の中でケアが必要な方をサポートします
- 今後の福島県内の産科・周産期医療の充実につながります

調査の概要

調査の回答内容から、支援が必要と思われる方には専任の助産師・保健師等からご連絡いたします。電話やメールを通して不安や悩みに関するご相談、支援をしています。

調査対象の方

主な調査項目
・妊産婦の心身の健康
・現在の生活、育児状況
・妊婦出産の経過
・次回妊娠に対する意識



●平成 29 年度の本調査対象者

- 平成 28 年 8 月 1 日から平成 29 年 7 月 31 日に福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
 - 上記期間に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県で産褥り出産された方
- 平成 29 年度のフォローアップ調査対象者
平成 25 年度調査に回答いただいた方で、平成 24 年 8 月 1 日から平成 26 年 4 月 9 日に出産された方

調査対象者数とご回答数

調査年度	対象者	ご回答数
平成 23 年度	1 万 6001 人	9316 人 (58.2%)
平成 24 年度	1 万 4516 人	7181 人 (49.5%)
平成 25 年度	1 万 5218 人	7260 人 (47.7%)
平成 26 年度	1 万 5125 人	7132 人 (47.2%)
平成 27 年度	1 万 4569 人	6866 人 (47.1%)
平成 28 年度	1 万 4149 人	7243 人 (51.2%)

※平成 29 年 8 月 31 日現在

出産約 4 年後にフォローアップ調査を実施

対象者数 2552 人 (35.2%)
ご回答数 5602 人 (36.2%)

※本案は、平成 29 年度サンプル

平成 30 年度については、平成 29 年度内容から大きく変更はしないが、レイアウトや文言等の修正を今後行う予定である。



これまでの調査結果から これまでの調査結果から分かったことをお伝えします。なお、最新の結果はホームページに掲載しております。

※平成29年8月31日現在のデータです。

❖ 回答して下さった方の半分以上が、これからも妊娠・出産を希望しています。

●「次の妊娠・出産をお考えですか？」

「はい」と答えられた方

全国調査		本調査			
平成29年度	平成28年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
51.0%	51.0%	52.9%	52.8%	57.1%	53.3%
					54.7%

全国調査：「平成22年第14回出生動向基本調査」結婚10年未満で子どもを予定している割合（順に子どもがいる場合）



「はい」の方で希望が多かったサービス

- 1位 保育の充実
- 2位 育児・小児医療に関する情報やサービス
- 3位 産休・育休等の充実

❖ 早産率、低出生体重児率、先天奇形率は、全国調査の値や一般的な水準と変わりました。

早産率	低出生体重児率		先天奇形・先天異常発生率	
	本調査	全国調査	本調査	全国調査
平成23年度	4.8	5.7	8.9	9.6
平成24年度	5.7	5.7	9.6	9.6
平成25年度	5.4	5.8	9.9	9.6
平成26年度	5.4	5.7	10.1	9.5
平成27年度	5.8	5.6	9.8	9.5
平成28年度	5.4	5.4	9.5	2.58

注：先天奇形・先天異常発生率 本調査は2014年度以降のデータに基づく。一般的な水準は3～5%。低出生体重児率は2014年度以降のデータに基づく。

❖ うつ傾向は減ってきていますが、まだ高い水準にあります。

●うつ傾向

本調査	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
27.1%	25.5%	24.5%	23.4%	22.0%	21.1%	

●フォローアップ調査（平成23年度調査回答者に対して平成27年度に実施）

●フォローアップ調査（平成24年度調査回答者に対して平成28年度に実施）

●フォローアップ調査（平成25年度調査回答者に対して平成29年度に実施）

ご相談は妊産婦専用ダイヤル 024-549-5180（平日9:00～17:00）をご利用ください。

●主な電話相談内容

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度～平成28年度（同じ順位でした）	平成23年度のフォローアップ	平成24年度のフォローアップ
1位	放射線の心配や影響	母親の心配や影響	母親の心配や影響	母親の心配や影響	母親の心配や影響
2位	母乳の心配や影響	子育て関連	子育て関連	放射線の心配や影響	子育て関連
3位	子育て関連	放射線の心配や影響	子育て関連	子育て関連	子どもの心配や影響

「子育て関連」の具体的な内容は、離乳食、夜泣き、便秘、予防接種など

Q なぜ、平成24年4月2日以降に生まれた子どもは甲状腺検査をしないの？

A 甲状腺がんの発生に関わっているのは放射性ヨウ素です。放射性ヨウ素は事故後約1ヶ月ほどとどろなくなり、それ以降は放射性ヨウ素はほとんど存在しないため、検査は不要です。詳しくは以下で検索してください。

Q 検索

県民健康調査 甲状腺検査

Q 水道水が心配。ミルクを作るときはミネラルウォーターを使った方がよい？

A 平成23年5月以降、福島県内の水道水からはヨウ素、セシウムなどの放射性物質はみつつかけていません。お店で売っている水をお使いになっても構いませんが、赤ちゃんに使う場合は硬水（マグネシウムやカルシウムが多い水）は避けましょう。消化のよい軟水を使いましょう。

Q 上の子のやきもちで、毎日イライラしてしまいます。どうしたらいいの？

A やきもちは、上のお子さんの心が成長しているためですが、接し方が難しいこともあります。下の子がお昼寝した時は上の子とじっくり遊ぶなど、意識的に上のお子さんとの関わりがとれるよう工夫してみてください。



Q 育児相談ができる場所はありますか？

A 福島県産科会では育児に関する無料相談を行っています。母乳の放射線物質の検査も行っています。その他、子育てサロン、家庭訪問、母乳育児支援（乳房トランプ等）、宿泊ケア・日帰りケアを県内各地で行っています。ご利用ください。

福島県産科会 0120-80-2051（平日9:30～16:30）

4 お礼状（案）



福島中央郵便局
料金後納
郵便



妊産婦に関する調査

県民健康調査



福島県・福島県立医科大学



未来から
はじめよう。

福島県立医科大学
ふくしま国際医療科学センター
放射線医学県民健康管理センター

〒960-1295 福島市光が丘1番地
TEL：024-549-5180

このたびは、
**「妊産婦に関する調査」に
ご協力いただき、誠にありがとうございました。**



福島県立医科大学では、
県内外の産婦人科医師などと
協力しながら、
今後皆さまを
サポートして参ります。

調査の結果について

これまでの調査結果は、福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターのホームページ「妊産婦に関する調査」のページでご覧いただけます。

- 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
「妊産婦に関する調査」
<http://fukushima-minamori.jp/pregnant-survey/>

福島 妊産婦調査 検索

妊娠、出産、育児に関する心配事、ご相談がございましたら、県民健康管理センターまでご連絡ください。助産師、保健師等が対応いたします。さらに、専門的な質問には医師が対応いたします。

電話相談の
ご案内

福島県立医科大学
ふくしま国際医療科学センター
放射線医学県民健康管理センター
妊産婦専用ダイヤル
平日 8:00～17:00
TEL：024-549-5180

福島県産科婦人科学会
福島県産科婦人科医会
TEL：024-547-1290
TEL：024-522-5191

メール相談の
ご案内

nimpu@fmu.ac.jp



未来から
はじめよう。

※本案は、平成 29 年度サンプル

平成 30 年度については、平成 29 年度内容から大きく変更はしない予定である。